

施設カルテとは

施設カルテは、市が保有する学校や公営住宅などの施設(建物)の“見える化”を図るため、施設担当課による実態調査及び施設現地調査などの結果に基づき、所在地をはじめとした基本情報、収支、老朽化の状況などを「施設基本情報シート」と「施設評価シート」にまとめ、今後の公共施設マネジメントの推進(運営・維持管理の見直し、具体的な取組など)に活用するものです。

施設カルテの概要

(1) 対象施設

平成28年度末で市が保有する建物(うち上下水道事業、消防団詰所、単独のトイレ、倉庫などを除く)

(2) 構成

「施設基本情報シート」: 当該施設の所在地、概要、収支の状況などをまとめたものです。

「施設評価シート」: 築年数、劣化の状況などの品質(ハード)面、利用の状況、収支の状況などの供給・財務(ソフト)の面から各種評価指標を設定し、当該施設の情報数値化して評価値(偏差値)を算定し、他の施設との客観的な比較を行ったものです。以下に各シートの見方を解説します。

施設名称		小来川公民館		「施設基本情報シート」				
所在地		中小来川2667-1	敷地面積	2,796 m <sup>2</sup>	平成29年度			
所管部署		日光公民館	施設床面積	514 m <sup>2</sup>				
用途		公民館	配置形態	複合施設				
根拠法令		日光市公民館条例、社会教育法	避難所指定	なし				
所有		土地 所有 建物 所有	管理形態	直営				
事業内容		各種学級及び講座等の開催。住民の集会その他の公共的使用への場の提供など						
建築物情報(主要7棟)								
No.	建物名	建築年度	築年数	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	階数	耐震状況	備考
1	小来川地区センター	西暦 1968 和暦 昭和43	49	514	RC造	2	0 旧 未 未	
2								
3								
4								
5								
6								
7								
利用・運営状況								
年間利用者数(人)		H26	0	H27	876	H28	1,062	
年間運営日数		243 日		主な施設利用料		定休日		
職員数		0.80 人		122				
一般		0.60 人						
嘱託等		0.20 人						
コスト状況								
支出(千円)		5,664		収入(千円)		0		
維持管理費		1,154		利用者1人あたりの維持管理費		0		
人件費		830		使用料・手数料収入		0		
委託料		324		その他収入		0		
修繕費		C		延床面積1m <sup>2</sup> あたりのコスト		C		
光熱水費		C		1m <sup>2</sup> あたりの維持管理費		C		
その他		C		維持管理費		1,087円/人		
事業運営費		4,510		施設床面積		■利用者1人あたりの経費(支出)		
人件費		4,150		1m <sup>2</sup> あたりの経費(支出)		■利用者1人あたりの経費(支出)		
その他		360		経費(支出)		■市民1人あたりの経費(支出)		
指定管理料		C		施設床面積		■利用者1人あたりの経費(支出)		
減価償却相当額等		C		経費(支出)		■市民1人あたりの経費(支出)		
				施設床面積		経費(支出) = 66円/人		
						人口		

施設の基本情報 (施設分類・根拠法令・管理運営等)

施設を構成する建物(棟)ごとの基本情報 (建築年度、築年数、延床面積、構造、階数、耐震状況)

事業運営状況 (年間運営日数、職員数(事業人工)、定休日、利用料金等 状況)

利用状況 (年間利用者数(過去3年)、部屋機能別利用状況)

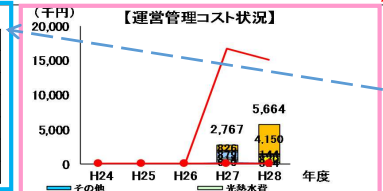
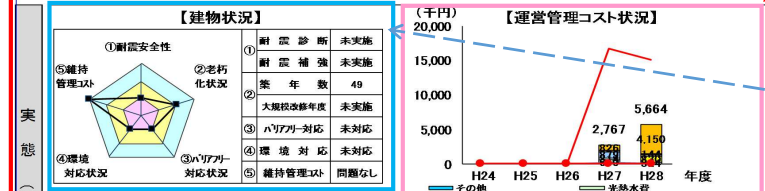
コスト状況(収支) (人件費、指定管理料、収入等)

分析指標値 (利用1人あたり経費、市民1人あたり経費、1m<sup>2</sup>あたり経費)

施設番号	45501	平成29(2017)年度
施設名称	小来川公民館	
所在地	中小来川2667-1	地域 日光地域
所管課	日光公民館	
用途	公民館	
敷地面積	2,796 m <sup>2</sup>	配置形態 複合施設 棟数 1
建築年(主な建物)	昭和43(1968)年	延床面積 (複合計) 514.3 m <sup>2</sup>
構造	RC造	階数 地上2階 地下0階



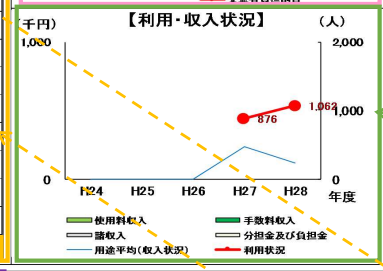
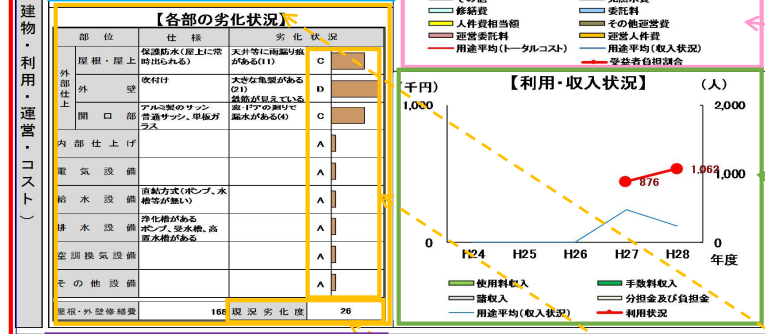
施設の基本情報 (施設分類・根拠法令・管理運営等)



分析指標値・ビジュアル化により、施設の現状を分かりやすく整理し、課題の解決につなげます。

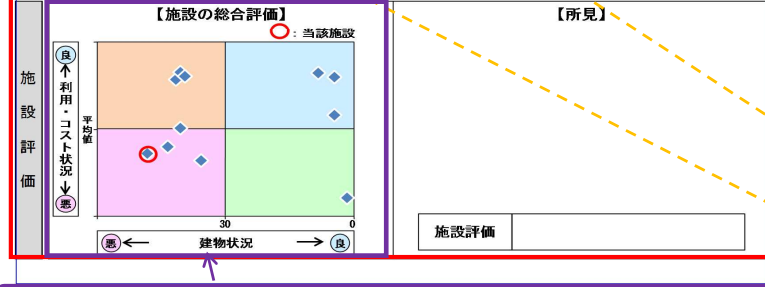
【建物状況】 建物の物理的な状態、パラメータを見ます。

【運営管理コスト状況】 運営管理コストの状況をグラフ化しており、どのような経費がかかっているのが確認できます。



【利用・収入状況】 利用者と収入の状況を対比します。

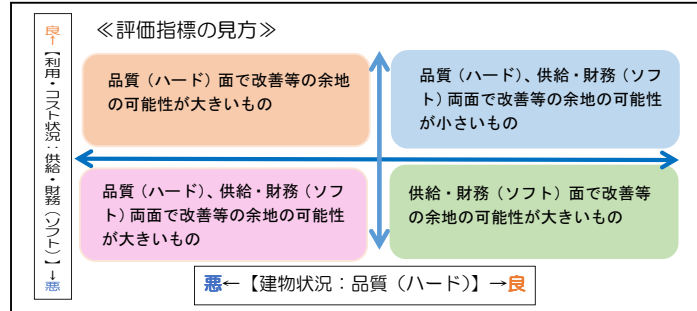
【各部の劣化状況】 9の部位ごとに、仕様、劣化状況、評価をまとめています。



劣化状況について、判断基準に基づきA~Dで評価を行います。(施設管理者が行う問診票での結果を評価)

劣化状況評価を点数化することにより、優先順位整理の判断基準とします。

【施設の総合評価】 劣化の状況などの品質(ハード)面=建物状況と、利用の状況、収支の状況などの供給・財務(ソフト)面=利用・コスト状況から各種評価指標を設定し、当該施設の情報数値化して評価値(偏差値)を算定し、同用途の他の施設との客観的な比較を行います。



※1.施設カルテの評価指標等を参考としながら、施設改善に具体的に取り組みます。  
※2.施設カルテは毎年度更新をしていきます。